

議会から こんにちは

2025 8.1
令和7年



出流原弁天池のほとりにある涌釜神社に飾られている花手水です。アジサイやノウゼンカズラなど、色とりどりの美しい花々が浮かべられ、訪れた人たちは足を止め、花手水を手に心を癒されている様子でした。

令和7年6月定例会

- 市長の施政方針表明と質疑
- 一般質問に16人が登壇

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→



佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索

市長の施政方針表明と質疑が行われました

4月に2期目の当選を果たした金子裕市長が、6月定例会において施政方針を表明しました。これに対し、久保貴洋議員(創政クラブ)、蘓原政夫議員(令和みらい)、小森隆一議員(公明党議員会)、鶴見義明議員(日本共産党議員団)、山菅直己議員(政友みらい)、長浜成仁議員(佐野市の明日をつくる会)、早川貴光議員(未来の佐野を明るくする会)(以上質疑順)の7人がそれぞれの会派の代表として質疑をしました。



▲ 金子裕市長

まちづくりの 基本理念

「進化する佐野市」 「選ばれる佐野市」

「進化する選ばれる佐野Ver.2」

6つのメニュー

- ① さいの子育て安心プラン
- ② さいの産業開拓プログラム
- ③ さいの未来創造プログラム
- ④ 防災インフラ整備強化の推進
- ⑤ シニア向けワンストッププラットホームの設置
- ⑥ 強く優しいまちの創造

Q

施政方針に対する質疑

A



蘓原 政夫 議員(令和みらい)

オール佐野市で市全体の融和を図るための 具体的な取り組みについて

Q 常に市民目線を心がけ、謙虚に、現場主義を貫き、11万3千市民全ての生命と財産を守る市長として、オール佐野市で市全体の融和を図ることであるが、具体的にどのようなことを行っていくのか伺いたい。

A 市民の皆様、市議会の皆様、そして行政が、それぞれの立場で、まちづくりの課題を主体的に捉え、課題解決に向けた行動を起こす必要があると感じています。

そこで、市民の皆様が積極的になちづくりに参画していただき、愛着を持ってふるさと佐野市を育てていけるような環境を整えていきたいと考えています。



久保 貴洋 議員(創政クラブ)

地域家族について

Q 地域において「地域家族」の考え方により、お互い支え合い、人を育てる佐野市を創り上げることであるが、地域家族の枠組みや仕組みについて伺いたい。

A 地域家族という考え方は、特定の地域やコミュニティを家族のように捉え、その中でお互いに助け合い、支え合うという概念であります。こうした考えの下、私は三世代の家族が一つ屋根の下、支え合うことが難しい社会情勢においては、地域を一つ屋根と捉え、地域全体で支え合う「地域家族」の構築を目指し、取り組みを進めていきます。血縁や法的関係に限らず、地理的に近接した人々が絆を深め、幅広い世代が関わり、地元を良くしようとする思いを積み重ねられる地域共生社会の仕組みを構築します。



小森 隆一 議員（公明党議員会）

フェーズフリーの概念に基づいた 市内防災力強化の重要ポイントについて

Q フェーズフリーの概念に基づいた市内防災力の強化を進めるうえでの重要ポイントを伺いたい。

A フェーズフリーの概念に基づく防災力の強化として、災害対応の先進国であるイタリアでは、災害発生から48時間以内にトイレ、キッチン、ベッドの機能を被災地に提供することが重要視されており、石破総理もこの頭文字を取って「TKB48」をしっかりと避難所に確保していく旨の発言をしています。

本市でも、そのようなことを踏まえた上で、市の防災用設備の整備や施設への防災機能の付加といった取り組みのみならず、キッチンカーの活用といった官民連携や、電気自動車の普及など、社会全体における仕組みづくりを検討していきたいと考えています。



鶴見 義明 議員（日本共産党議員団）

災害時、孤立の可能性がある対象地域への 周知について

Q 県の令和6年度の調査では、災害時に孤立する可能性のある集落は15市町で544集落、市町別では佐野市が90集落という調査結果だった。

この90か所の対象地域について、周知はされているのか。また、災害時の対策はどのように考えているのか伺いたい。

A 周知については、県と協力し、令和7年度に啓発リーフレットを配布したいと考えています。また、対策については、基本的に防災用設備は可搬式とし、トイレトレーラーや可搬式浄水器のほか、電源設備、通信機器、冷暖房機器等を想定しています。

平時においても、フェーズフリーの概念に基づき、官民連携や電気自動車などの普及など、社会全体における仕組みづくりを検討していきます。

佐野市議会 議会中継（令和7年）

「令和7年第4回（6月）定例会・常任委員会 — 06月10日 議案質疑」からご覧になれます。



山菅 直己 議員（政友みらい）

1期目での反省点について

Q 「市議会と市長である私が市政運営の両輪として、しっかり市民の負託に応えられるよう、お互いの思いを尊重し、閣下に議論を交わしながら、市民のためのより良い市政の実現を目指します」と言われたが、1期目で反省している点はあるのか伺いたい。

A 1期目については、コロナ禍でのスタートだったため、感染症拡大防止の観点から、市民の皆様や市議会の皆様と直接意見交換する機会をあまり設けることができなかったと反省しています。

今後については、今まで以上に市民の皆様や市議会の皆様との意見交換等を行うことで、信頼関係を構築し、より良い市政の実現を目指していきます。



長浜 成仁 議員（佐野市の明日をつくる会）

持続可能な財政運営の仕組みについて

Q 持続可能な財政運営の仕組みを構築していくことに関して、公共施設の見直し以外の事業の見直しについてどのように考えているのか伺いたい。

A 持続可能な財政運営の仕組みを構築していくことに関し、具体的には、市民ニーズを的確に捉え、事業の成果を測りながら、市民サービスの低下につながらないよう配慮する一方で、時代にそぐわない事業や役割を終えた事業を見極め、説明責任を果たした上で、事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進し、真に必要な事業に予算を配分していきたいと考えています。



早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)

「強く優しいまちの創造」についてのロールモデルを示すという具体的な内容について

Q 若者や女性が希望を叶え、いきいきと活躍できるロールモデルを示すとともに、企業や地域社会と連携し、若者や女性視点による社会環境の整備を図るとしているが、このロールモデルを示すという具体的な内容について伺いたい。

A まずは事業者、企業等に対して、若者や女性にとって「働きがい」や「働きやすさ」のある職場づくりに取り組んだ事例等をロールモデルとして紹介することが重要であると考えています。

さらに、市内の若者や女性、経営者などが、ワークシoppを通して、働き方の課題に取り組み、働き方の理想像や魅力ある職場の実現を目指すことが、市内に向けてロールモデルを示すことになると考えています。

こ こ が 聞 き た い

6月定例会一般質問



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



こども誰でも通園制度について

Q こども誰でも通園制度の課題として、小さい子供が慣れる間もなく泣きっぱなしで1日が終わるなど、多くの懸念がある。

国からまだ詳細が示されていない内容も多いが、そういう中で試験的に実施するということで、様々な課題があると思う。市として、こうした通園制度の課題として懸念することがあれば伺いたい。

A こども福祉部長

現時点で課題と捉えていることは、1か月当たりの利用時間が10時間までと制限がありますので、子供や保護者、保育士にとっても慣れるまでに時間がかかる可能性もあることから、保育の質を確保することや、利用希望者のニーズを把握し、利用希望者数に応じて実施施設の数を検討する必要があるものと考えています。

その他の質問

☆マイナンバーカードについて



慶野 常夫 議員
(政友みらい)



本市における鳥獣被害について

Q 吾妻地区では、昨年から今年にかけてイノシシの出没情報が数回あり、また今年5月には猿3匹の目撃情報があったが、本市の認識について伺いたい。

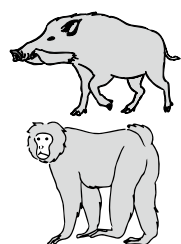
A 産業文化スポーツ部長

イノシシについては、昨年度から出没状況が寄せられ始め、農地の掘り起こしや農作物などへの被害を把握しています。猿については、議員ご指摘のとおり、今年になって目撃情報が寄せられたところです。恐らく群れからはぐれたものと推察しています。

イノシシの捕獲を強化するため、新たに捕獲わなを1基設置し、既存のわなと併せて、現在7基設置しています。猿に関しては、目撃者に対し、今後猿を目撃しても近づかず、刺激を与えないことや、誘引物として果樹等の餌になるものが放置されないよう注意喚起を行いました。

その他の質問

☆佐野新都市行政サービスセンターについて
☆育児と介護を同時に行うダブルケアについて





くろき 久保

(創政クラブ)
貴洋 議員

命と健康を守る暑さ対策について

Q 高齢者のエアコンの適切な利用に向けた支援策について伺いたい。

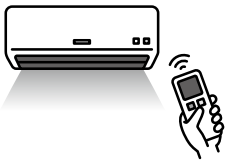
A 市民生活部長

高齢者の熱中症対策については、自宅において、エアコンを適切に活用し、脱水や体温の上昇を抑えることが最も有効な手段であると考えています。

本市では、広報紙などによる周知のほかに、地域包括支援センターや介護予防教室など、特に地域の高齢者が集う通いの場で、エアコンの適切な使用を促すチラシ等を配布し、高齢者に向けた周知をお願いしています。

また、高齢者のエアコン購入を支援するため、省エネ家電購入支援補助金に高齢世帯枠を新たに設け、節電効率の高いエアコンの購入費用について、補助上限額を一般世帯から3万円を上乗せして支援すると、自宅におけるエアコンの設置促進につなげていきたいと考えています。

その他の質問
☆防災対策について



ほりかわ 堀川

(創政クラブ)
悦郎 議員

佐野市内の小・中・義務教育学校のプールについて

Q 今後、民間活力を活用しながら、運動公園プールに限らず、複合的プール施設を設置することについて見解を伺いたい。

A 市長

民間活力による複合的なプール施設の設置についてですが、佐野市運動公園プールは全体的に老朽化が進行している状況にあるため、まずはリニューアルも含めた改修の検討を始める段階だと考えています。

そのため、佐野市運動公園以外の場所での設置やプール以外の機能を持たせることは、現段階では予定していません。

なお、複合的プールを整備することになった際は、民間資金や施設運営における民間の知見の活カも視野に入れる必要があると考えています。

その他の質問
☆小・中・義務教育学校適正配置について
☆学校運営について



もてぎ 茂木

(創政クラブ)
明男 議員

高齢者緊急通報装置貸与事業について

Q 本市の高齢者緊急通報装置貸与事業の実績について伺いたい。

A 健康医療部長

高齢者緊急通報装置貸与事業は、要支援以上の介護認定を受けているひとり暮らしの高齢者の方などに、ボタンを押すとコールセンターに自動通報される緊急通報装置を貸与するものです。貸与の実績ですが、令和7年3月31日現在の貸与者は143人です。

本市における緊急通報装置の利用者は、近年減少傾向にありますが、対象のひとり暮らし高齢者が増加傾向にあることや、住民同士の見守り、安否確認のサービスである乳酸飲料愛のひと声事業との兼ね合いから、大きく増加するものではなく、前年と同程度で推移するものと予想していましたが、昨年度は9%ほど減少しています。

その他の質問
☆みかもクリーンセンターについて
☆市内小中学校の校庭照明設備、トイレについて
☆市内競技場及び運動場の照明設備について





澤田 ひろき

(創政クラブ)
裕之 議員

災害対策について

Q 地域企業などが持つ専門性やマンパワーは、消防団の活動を効果的に補完し得る大きな力となると考える。そこで、水防協力団体の現状と募集する考えについて伺いたい。

A 行政経営部長

本市は、地域防災計画において水防協力団体を位置づけていますが、現在指定している団体はありません。

水防活動を行う消防団員が減少し、地域防災力の低下が懸念されている中、台風や大雨の際に河川の巡視や水防活動に必要な資器材の提供など、様々な業務を担っていただく水防協力団体は、大変重要な存在であると認識しています。

今後は、市のホームページ等において周知するほか、関係団体への働きかけを行って、水防協力団体を確保していきたいと考えています。

その他の質問

☆持続可能な地域農業について
☆子どものいじめ防止対策について

立川 しゅんいち
俊一 議員
(佐野市の明日をつくる会)

子ども計画について

Q 公設子どもクラブの現在の保育時間は、学校がある日は下校時間から午後6時まで、学校休業日は午前8時から午後6時までとなっているが、保育時間の延長について本市の見解を伺いたい。

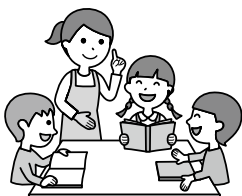
A 市長

令和6年度に利用保護者を対象にアンケートを実施し、保育時間の延長利用に関心があるかとの問いに「はい」と答えた方の割合は約52%となっています。また、平日が18時30分までの30分間の延長、長期休業日や土日は朝7時から開所し、18時30分までの開所という延長の声が多くありました。

今後、延長へのニーズを踏まえ、実情に応じた適切な保育時間の設定に向け、検討に入っていきたいと考えています。

その他の質問

☆高齢者の健康増進について

井川 かつひこ
克彦 議員小中一貫校整備事業における
かえで義務教育学校の建設について

Q 第三者評価制度や契約監視の仕組みがPFIの場合には必要になるが、第三者評価制度や契約監視の仕組みと比較して、DBO方式の場合はその透明性と公平性をどのように確保するのか伺いたい。

A 教育部長

契約監視の方策として、本市が行うセルフモニタリングのほか、西中学校区小中一貫校整備事業者選定に携わっていただいた支援事業者に業務を委託し、設計の段階、施工の段階、維持管理の段階それぞれで事業者提案の内容や要求水準書及び契約内容が確実に履行されているかどうかを確認、点検するモニタリング業務を行います。

その他の質問

☆義務教育学校について
☆城東中学校区小中一貫校整備事業について





はぎわら
穂原

まさお
政夫 議員
(令和みらい)



児童・生徒の健全育成について

Q 通学路における防犯対策の現状と改善策について伺いたい。

A 教育部長

昨年度、民家がなく、樹木が生い茂って死角があった箇所について、町会のご協力をいただき伐採しました。

このほか、防犯ブザーを小学校、中学校の1年生と義務教育学校の1年生と7年生へ貸与しています。また、佐野市防犯協会や佐野警察署と連携し、子供や地域に対する見守りの目を地域全体に増やすため、市民へ呼びかけ、「ながら見守り協力隊」を結成する対策を実施しています。

今後も関係機関と連携し、地域の皆様のご協力をいただきながら、児童生徒の登下校の安全確保をしていきます。



おぐら
小倉

けんいち
健一 議員
(政友みらい)



孤立可能性集落対策について

Q 孤立可能性集落90か所全てにおいて、早期の訓練実施が望まれる。どのように進めていくのか伺いたい。

A 行政経営部長

令和6年度の栃木県の調査による90か所は、農林業センサス統計調査の農業集落を基本に、一律の基準の下に確認したものです。対象の集落が真に対策が必要かどうか、十分に精査されていないため、まずは県において予定される精査に協力し、必要に応じて市独自の調査を実施し、孤立可能性集落の範囲をいま一度整理、対策を検討した上で、対象集落へのアプローチ、訓練を実施したいと考えています。

県の精査の結果については、年末頃になる見込みであり、本市としては、年度内には対象集落を見極めたいと考えています。

その他の質問

- ☆小中学校の落雷事故防止対策について
- ☆学校活動における事故等の備えについて



こもり
小森

りゅういち
隆一 議員
(公明党議員会)



地域で進める「こどもまんなか」まちづくりの取り組みについて

Q 子供の最善の利益をより追求するためには、「ミニユニティ・スクールの委員に若者や校長以外の教職員など、多様な人材を迎えてはどうかと考えるが、見解を伺いたい。

A 教育部長

委員については、現在校長と学校地域応援団の統括コーディネーター、PTA役員、町会役員、学識経験者といった構成が主ですが、文部科学省の手引によりますと、民生委員・児童委員、伝統芸能保存会、同窓会、青年会議所などの代表の方といった例も示されており、大学生など若い世代の方についても、学校の運営に必要な方を地域と学校の実情により選定することは可能となっています。学校運営に必要な人材と判断されれば、市内各校において若者等が選定されるものと考えています。

その他の質問

- ☆小中一貫教育の推進について
- ☆防犯対策について
- ☆本市職員の地域貢献のための兼業の認定制度について
- ☆都市公園の整備と管理について





はやかわ
早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)



地域公共交通計画について

Q 助成制度のデジタル化・高度化に向けた実証運行は、現在高齢者の生活路線バス、一般タクシーの運賃助成制度の適用を受ける紙の利用者証等の提示に代わり、マイナンバーカードを活用して資格確認をするものとしている。本格運行の乗車手順についてMaas等を入れれば身分確認と決済まで一度にできるようになるが、身分証の確認と決済を別で運用する理由について伺いたい。

A 都市建設部長

令和5年度に1枚のカードで資格確認及び運賃の支払いが可能となるマイナンバーカードと、交通系ICカードを連携した取り組みについて検討を行いました。導入後に発生するランニングコストが高額であったことから、取り組みの検討を見送ったところでです。

その他の質問
☆ガバメントクラウドについて



たきた
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



特別支援学校に通学している保護者と児童・生徒の現状について

Q ヘルプマークは、外見では障がいや病気が分かりにくい方が周囲の配慮や支援を必要としていることを知らせ、緊急時に適切な対応が受けやすくなり、公共交通機関や施設での配慮を促す。

このヘルプカードは、持ち物のバッグなどに付けるが、子供はこのカードが気になり、バッグに付けても外してしまつたため、親は困っている。例えば、父親が娘のトイレ介助をするときに困ってしまうため、外したり、気にならないようにシールタイプがあればと考えるがいかがか。

A 市長

本市でもストラップ型のヘルプマークを窓口で希望者に配布しており、今後も利用する方の状況に応じて使い分けていただけるようなシール型も作成し、発行していきたいと考えています。

その他の質問
☆学校給食について
☆重度障がい者入所施設について
☆誰でも遊べる屋内の遊び場について
☆公共施設のトイレに生理用品設置について



ながはま
長浜 成仁 議員
(佐野市の明日をつくる会)



補助金等の見直しについて

Q 今後の人口減少、人口減に伴う税収減を見据え、限られた財源を有効活用する補助金等の抜本的な見直しは避けて通ることができないと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A 総合政策部長

議員からご提案ありましたとおり、社会情勢の変化等もありますので、現行の佐野市補助金等交付基準について、補助金等がさらに効果的かつ効率的な運用、執行になるように見直しを図っていききたいと考えています。

その他の質問
☆スポーツでまちを盛り上げる取り組みについて
☆今後の指定管理者制度の在り方について
☆「国際防災拠点さの」の現在地について
☆戦後80年の迎え方について





いのせ
猪瀬 朱美 議員
(未来の佐野を明るくする会)

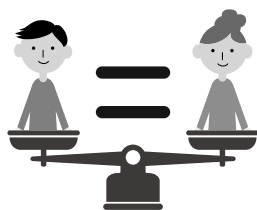


男女共同参画について

Q 多くの企業にパレット賞に応募してもらうために、受賞した企業にインセンティブを設定することについての見解を伺いたい。

A 市民生活部長

市ホームページやSNS、広報紙等で受賞事業者の名称や取り組み事例を発信しております。これにより、男女共同参画を推進している事業者であることを広く市民に周知する効果が期待できるものと考えていますが、他自治体での取り組み等もありますので、近隣市の取り組み事例等を参考に、引き続きパレット賞を市内の事業者にとって魅力的な事業として継続していくためにも、さらなるインセンティブの設定について調査研究していきたいと考えています。



たに
谷 美枝子 議員
(公明党議員会)



子育て環境の整備について

Q 学童に入れなかった児童を、今後公民館や児童館などの場所を借りて預かることができるのか伺いたい。

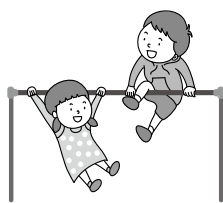
A 市長

本市においては、4つの児童館でこどもクラブを併設しています。また、界地区公民館及び赤見地区公民館では、館内の一部をこどもクラブとして借用することで、募集定員内での受入れをしているところです。さらに、吉水小学校区内の待機児童を解消するため、公民館の一部を借用する形でこどもクラブの整備を進めているところもあります。

一方で、早期開設に向けては、民間と連携し、空いている賃貸物件を利用するなど、早急に開設できる方策を考えていて、待機児童解消に向けた取り組みを行っていきます。

その他の質問

☆熱中症対策について
☆受動喫煙防止対策について



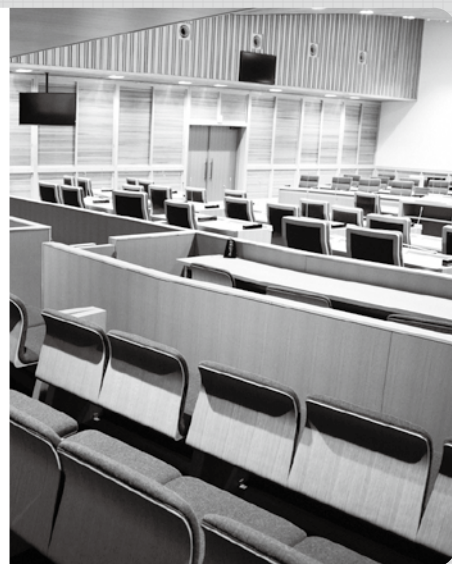
傍聴について

詳しくは
こちら



佐野市議会では、本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会（予算審査・決算審査）の傍聴ができます。
車いすでの傍聴もできます。

事前予約は必要ありませんが、当日受付にて、住所・氏名をご記入いただく必要があります。



令和7年第4回定例会（6月定例会） 審議された議案等と結果

第4回定例会(6月定例会)は、6月6日(金)から6月23日(月)までの18日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名 【内 容】	議決結果等	
報告第3号	佐野市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について 【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第4号	継続費繰越計算書の提出について 【文化会館リニューアル事業】	報 告	—
報告第5号	繰越明許費繰越計算書の提出について 【公共施設LED照明整備事業 ほか20事業】	報 告	—
報告第6号	水道事業会計予算繰越計算書の提出について 【電気・機械設備更新事業 ほか1事業】	報 告	—
報告第7号	下水道事業会計予算繰越計算書の提出について 【公共下水道汚水整備事業 ほか4事業】	報 告	—
報告第8号	水道事業会計継続費繰越計算書の提出について 【小中浄水場整備事業】	報 告	—
報告第9号	市長の専決処分事項の報告について 【令和7年3月17日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第56号	人事擁護委員候補者の推薦について 【石川悦子 ^{いしかわえこ} 氏を推薦】	推薦同意	賛成全員
議案第57号	佐野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例改正について 【選挙長等の報酬額を変更し、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第58号	トイレトレーラーの取得について 【トイレトレーラーの取得】	原案可決	賛成多数
議案第59号	小型動力ポンプ付積載車の取得について 【小型動力ポンプ付積載車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第60号	高規格救急自動車の取得について 【高規格救急自動車の取得】	原案可決	賛成全員
議案第61号	とちぎ南西消防指令センター整備に伴う消防指令システム各種機器の取得について 【とちぎ南西消防指令センター整備に伴う消防指令システム各種機器の取得】	原案可決	賛成全員
議案第62号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第3号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ34,701千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第63号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第4号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ72,106千円を追加、繰越明許費、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第64号	令和7年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ880千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第65号	監査委員の選任について 【井川克彦 ^{いがわかつひこ} 氏を選任】	選任同意	賛成全員 (除斥1名)
議案第66号	令和7年度佐野市一般会計補正予算(第5号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,434千円を追加】	原案可決	賛成全員
請願第1号	一般県道築地吉水線の早期開通に関する請願【詳細は11ページに掲載】	採 択	賛成全員
陳情第2号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情 【詳細は11ページに掲載】	不採択	賛成少数

※議案第65号において、井川議員が除斥となりました。

※除斥とは、議会における審議の公正を期すために、審議案件と一定の利害関係を有する議員は当該案件の審議に関与することができないとする制度のことです。

賛否が分かれた議案等

議案番号等	件名	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				堀川悦郎	田邊直美	横塚剛	茂木明男	立川俊一	長浜成仁	谷美枝子	井川克彦	栗崎卓二	澤田裕之	穂原政夫	神宮次秀樹	猪瀬朱美	早川貴光	大山圭司	小倉健一	小森隆一	菅原達	久保貴洋	川嶋嘉一	滝田洋子	鶴見義明	慶野常夫	山菅直己
議案第58号	トイレトレーラーの取得について	21	2	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 2 号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情	2	21	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×

※○＝賛成、×＝反対

※菅原達議長は採決に加わりません。

請願の審議結果

請願第1号

一般県道築地吉水線の早期開通に関する請願

▼請願人 個人情報のため非公開

▼紹介議員 山菅 直己議員

▼請願の要旨

一般県道築地吉水線は、その計画が平成初期より存在していたにも関わらず、平成29年に事業着手が行われ、令和5年に事業完了を予定していたが完成せず、令和12年まで延長となっています。佐野市としても、築地吉水線が早期開通するように最大限の働きかけを行っていただきたいです。

▼審議結果

建設常任委員会に付託され、賛成全員で採択となりました。本会議においても賛成全員で採択となりました。



▲全文は、こちらからご覧になれます。

陳情の審議結果

陳情第2号

政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情

▼陳情人 ハラスメントから職員を守る栃木県民の会 代表 兼子 孫芳

▼陳情の要旨

- (1) 庁舎内において物品販売や勧誘等の行為をする場合は、庁舎管理規則により、あらかじめ施設管理者の許可を得る必要があり、政党機関紙の勧誘行為についても同様に許可が必要であることを、明確に確認をお願いします。これまで許可を得ずとも勧誘行為が見過ごされてきた可能性があれば、今年から改めてください。
- (2) 今後、庁舎管理規則に違反して、庁舎内で議員から職員に政党機関紙の勧誘行為を行った事例が発見された際は、全庁的な実態把握のため、政党機関紙の勧誘行為に関する職員アンケートを実施するなど、再発防止に努めてください。
- (3) 「政党機関紙の勧誘行為」について、仮に議員からの許可の申請があり、行政が同勧誘行為の許可不許可の判断をする際は、特定の政治的判断に加担する恐れがあるかどうかの判断とあわせ、政党機関紙の勧誘行為に伴う心理的圧力の有無に関しても、職員アンケートを通して収集し、判断材料としてください。

▼審議結果

総務常任委員会に付託され、賛成少数で不採択となりました。本会議においても賛成少数で不採択となりました。



▲全文は、こちらからご覧になれます。

令和6年度の

政務活動費の 収支状況を 公開します。



議員の研究研修、調査、広報、広聴、その他の調査研究活動に役立てるため、必要な経費の一部として交付されるものです。

本市では、議員1人当たり年額30万円（1か月当たり2万5千円）が一括で交付されます。交付された議員は、毎年4月30日までに現金出納簿及び領収書等を添付して、収支報告書を提出します。なお、残額があるときは市に返還することになっています。

別記様式第4号（第5条関係）

令和7年4月 日

佐野市議会議長 様

議員の氏名

令和6年度 政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和6年4月8日佐野市指令議第1号で交付決定の通知のありました政務活動費について、佐野市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、次のとおり報告します。

1 収 入

政 務 活 動 費 300,000円

2 支 出

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費	23,000円	〇〇〇〇研修会参加者負担金・旅費 他
調 査 旅 費	150,000円	行政視察旅費 〇〇〇〇〇〇市、〇〇〇〇〇市 100,000円 〇〇〇〇〇〇市、〇〇〇〇〇市 50,000円
資 料 作 成 費	5,000円	プリンター用インク代
資 料 購 入 費	50,000円	新聞購読料（一般紙：〇〇新聞）35,000円 新聞購読料（業界紙：〇〇新聞）10,000円 他
広 報 費	75,910円	市議会報告書印刷費（〇、〇〇〇部） 他
広 聴 費	0円	
人 件 費	0円	
そ の 他 の 経 費	0円	
合 計	303,910円	

3 残 額 0円

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費収支報告書例

区 分	内 容
研究研修費	議員が研究会、研修会等を開催するために必要な経費または議員が他の団体の開催する研究会、研修会等に参加するために必要な経費 ※党費、党大会の参加費、賛助金、党大会参加のための旅費、懇親会会費などは対象外です。
調査旅費	議員が行う調査研究活動のための先進地調査または現地調査に必要な経費 ※観光を目的とする旅費、視察中の飲食費などは対象外です。
資料作成費	議員が行う調査研究活動に関する資料の作成に必要な経費 ※選挙活動用資料作成費、党の機関紙発行費などは対象外です。
資料購入費	議員が調査研究活動を行うための図書、資料等の購入に必要な経費 ※一般紙の新聞代は、2紙目以降分が対象になります。 ※所属政党の機関紙・新聞代、一般的な図書の書籍代などは対象外です。
広 報 費	議員が調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、または広報するために必要な経費 ※政党の広報紙、選挙ビラ作成費などは対象外です。
広 聴 費	議員が住民からの市政及び議員の政策等に対する要望または意見を聴取するための会議等に必要な経費 ※親睦会経費、懇親会経費、政党活動・後援会活動に要する費用などは対象外です。
人 件 費	議員が行う調査研究活動を補助する臨時の職員を雇用するために必要な経費 ※秘書的な経費、報告会・公聴会の会場設営に係る賃金などは対象外です。
その他経費	上記以外の経費で議員が行う調査研究活動に必要な経費 ※香典、祝金、寸志、餞別、見舞金、慶弔電報料金、年賀状代、名刺印刷代、自家用自動車に係る経費などは対象外です。

佐野市議会 令和6年度 政務活動費収支状況

(単位：円)

No.	議員氏名 (50音順)	交付額	実支出額の内訳						実支出額 合計	残 額 (返還額)
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	その他経費		
1	飯田 昌弘	300,000	1,000	272,130	0	46,800	1,512	0	321,442	0
2	小倉 健一	300,000	1,000	0	15,232	129,142	12,292	0	157,666	142,334
3	金子 保利	300,000	26,280	0	13,598	8,020	1,512	0	49,410	250,590
4	川嶋 嘉一	300,000	1,000	139,040	0	0	1,512	0	141,552	158,448
5	木村 久雄	300,000	2,000	76,180	5,780	55,200	1,512	0	140,672	159,328
6	久保 貴洋	300,000	2,000	272,130	8,250	104,400	1,512	0	388,292	0
7	慶野 常夫	300,000	0	139,040	0	0	293,700	0	432,740	0
8	小暮 博志	300,000	0	139,040	0	5,092	178,610	0	322,742	0
9	小森 隆一	300,000	27,300	76,180	0	62,956	150,012	0	316,448	0
10	澤田 裕之	300,000	0	272,130	0	0	314,666	0	586,796	0
11	神宮次秀樹	300,000	2,000	139,040	0	46,800	185,085	0	372,925	0
12	菅原 達	300,000	0	79,420	8,550	14,636	93,912	0	196,518	103,482
13	鈴木 靖宏	300,000	0	0	0	0	390,560	0	390,560	0
14	高橋 功	300,000	1,000	272,130	0	39,914	1,512	0	314,556	0
15	滝田 洋子	300,000	38,530	0	10,030	1,900	257,270	0	307,730	0
16	田所 良夫	300,000	1,000	0	23,255	53,700	591,030	0	668,985	0
17	鶴見 義明	300,000	34,090	0	0	49,320	141,944	0	225,354	74,646
18	長浜 成仁	300,000	0	139,040	0	0	175,312	0	314,352	0
19	穂原 政夫	300,000	2,000	139,040	0	0	51,012	0	192,052	107,948
20	早川 貴光	300,000	0	0	37,518	0	44,388	0	81,906	218,094
21	春山 敏明	300,000	1,000	46,350	0	57,602	145,609	261	250,822	49,178
22	山菅 直己	300,000	2,000	139,040	41,070	46,800	1,512	0	230,422	69,578
23	横井 帝之	300,000	2,000	46,350	0	0	0	0	48,350	251,650

※広聴費及び人件費については、いずれの議員も支出がなかったため省略しています。

※上記の収支報告書、現金出納簿、領収書等は、佐野市議会ホームページでご覧いただけます。

また、議会事務局(佐野市役所7階)においても閲覧することができます。閲覧時間は、
開庁日の午前8時30分から午後5時15分までです。

政務活動費 佐野市

検索



令和7年9月定例会日程(案)

令和7年9月定例会の日程は、8月29日(金)の議会運営委員会で内定し、9月5日(金)の本会議で決定します。

8/25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	31日(日)
		請願・陳情 提出期限(17:00)		10:00 議会運営委員会		
9/1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
15日(月・祝)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)
休会	10:00 本会議 (一般質問)	9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	休会
22日(月)	23日(火・祝)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)
9:00 決算審査特別委員会	休会	9:00 決算審査特別委員会	9:00 決算審査特別委員会	9:00 決算審査特別委員会	休会	休会
29日(月)	30日(火)	10/1 (水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
9:00 決算審査特別委員会	休会	本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)				

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会の開会時間は、付託された議案・請願・陳情の件数が6件以下の場合は10:00開会、7件以上の場合は9:00開会

新任議員研修会を実施しました



令和7年5月26日と27日の2日間で新任議員研修会を実施しました。

26日は佐野市役所7階委員会室にて、第2次佐野市総合計画や市の予算などについて、各担当課より説明を受けました。

27日は市内にある市有施設の視察として、消防本部やみかもクリーンセンター、上下水道局大橋浄水場など、計9施設の現地視察を行いました。



が期待されます。

(澤田記)

令和7年6月定例会は6月6日から6月23日までの18日間開催されました。4月の改選後初となる今定例会では、16名の議員が一般質問に登壇し、提出された議案等についても熱心な審議が行われました。特に新任議員5名が質問を行い、そのうち女性議員が2名もあり、これまでとは異なる視点からの質問が活発に行われたのが印象的でした。多様性が求められる時代において、今後多角的な視点からの議論が期待されます。

編集後記

【編集委員会】
委員長 早川 貴光
委員 澤田 裕之
委員 小森 隆一
委員 小倉 健一
委員 鶴見 義明